

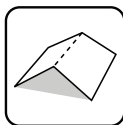
ハクチョウ【組立説明書(日)】



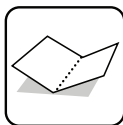
ハクチョウ(白鳥)

ハクチョウとはカモ科の水鳥で、夏季はシベリアやオホーツク海沿岸で繁殖し、冬季は温暖な日本に越冬のために渡り、新潟県阿賀野市の瓢湖等で過ごし、春には飛去する。空を飛ぶ鳥の中では最大級の重量を有している。

作り方



山折り線(点線)
山折りにしてください。



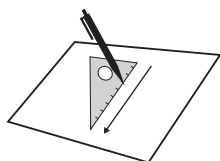
谷折り線(点線)
谷折りにしてください。



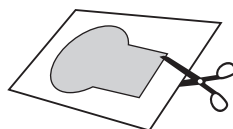
切り取り線(実線)
切り取って下さい。



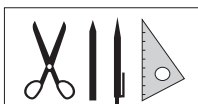
切り抜き部
切り抜いて下さい。



「山折り線」や「谷折り線」の点線に定規等をあて、使用済ボールペンでなぞり、折り目をつけると作業がしやすくなります。



実線にそってハサミで部品を切り出します。



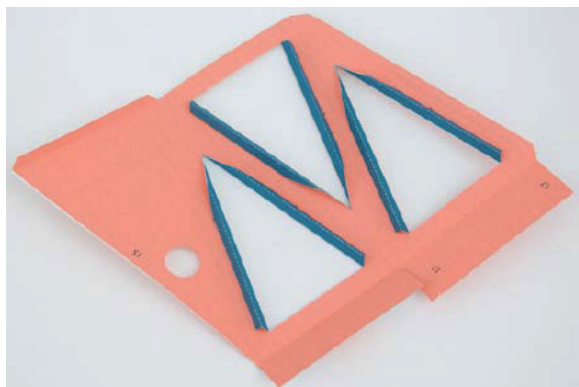
必要な道具

ハサミ、定規、のり、えんぴつ、使用済みのボールペン、ピンセットなどが必要です。



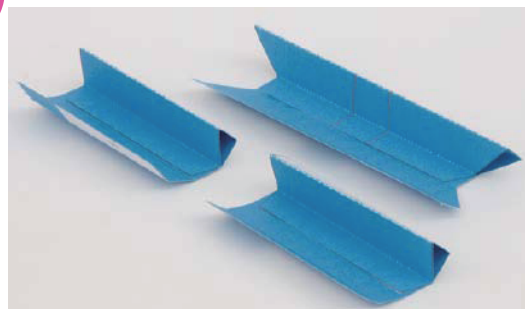
のり、ハサミ、ピンセット等、幼児には危険な道具を使用します。作業はこれらの道具が幼児の手に届かない場所でしてください。

1

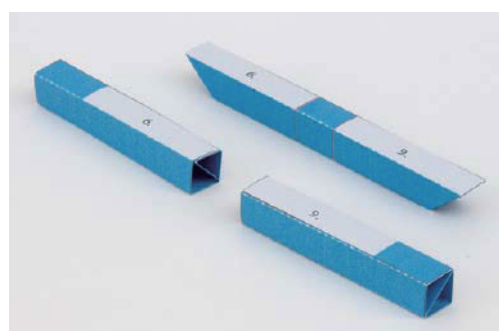


ハクチョウの台となる箱は、2つの平行四辺形の部品によって組み立てます。最初に、ハンドルを通すための穴を丸く切り抜いておいてください。次に、1枚の平行四辺形には3箇所窓をあけるところがあるので、これもあらかじめ、切り抜いておきましょう。最後に、切り抜いた3箇所の窓を写真のように、内側に折り目（山折り）に沿って、内側に折り込み、接着剤でのりづけしましょう。この窓をあける作業は、この後行う作業を楽にすることと、箱の強度を増すために行われるものです。（※なお、接着剤は木工用ボンドをお勧めしています。）

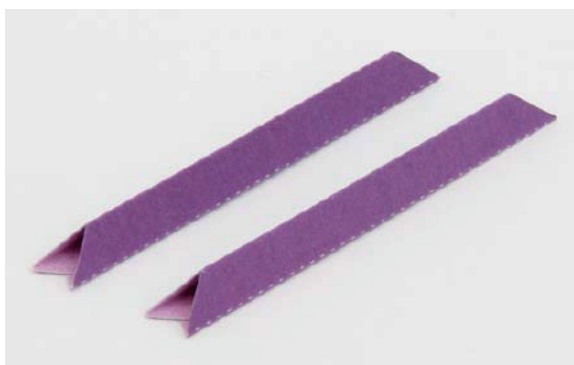
2



次に、ハンドルを回転させるクランクの役目をする3つの部品を組み立てます。この時点では、それぞれのクランクを組み立てただけです。まだ結合させないでください。

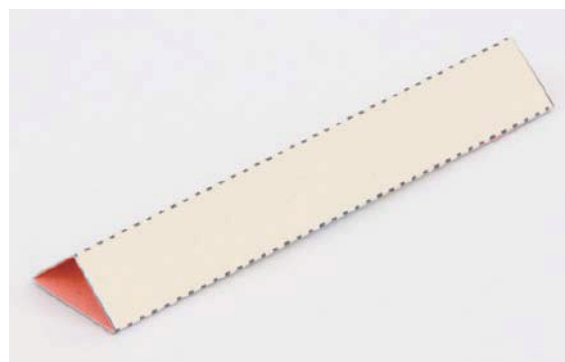


3



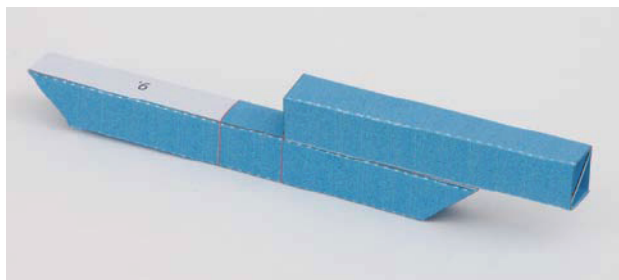
箱の強度を増すための"補強材"を2つ作ります。番号"4"と書かれた小豆色の部品（2枚あります）を、のりづけし、組み立ててください。

4



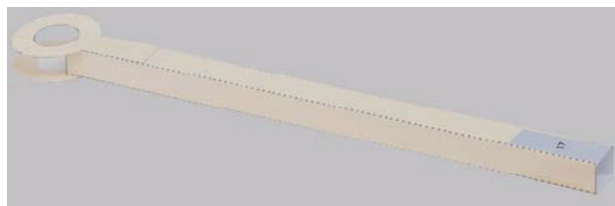
番号"5"と書かれた、黄色の四角い部品を組み立て三角柱にします。同じ番号同士を、のりづけしてください。これは、ハクチョウの羽を動かすための部品（棒=プッシュ・ロッド）を、支えるものとなります。

5



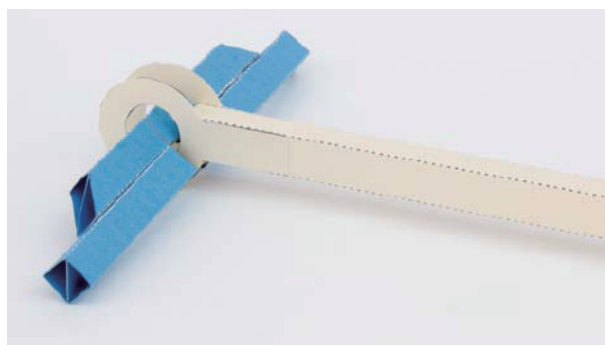
さきほど組み立てた青色のクランク部品を組み合わせ、組み立てていきます。まず、小さな部品のひとつを大きな部品の中央に書かれた二本線の内側に合わせて、のりづけします。
この時点では、もういっぽうのクランク部品はのりづけをしないでください。

6



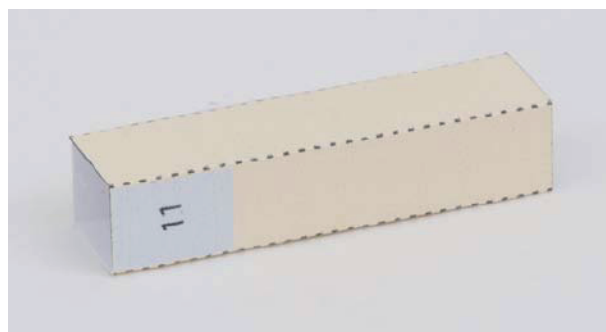
ハクチョウを動かすための中心にくる柱を作ります。四角の柱となります。
柱が出来上がったら、柱の先に「17」と書かれた丸い穴の開いた部品2枚をのりづけしてください。出来上がりは写真のようになります。

7



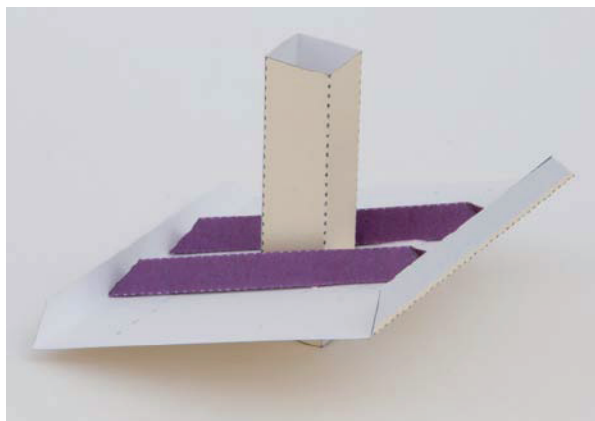
⑥で作った四角柱の端についている2つの穴に、⑤のクランクを差し込みます。差し込んでから、クランクの残りのひとつを、のりづけしてください。写真を良く見て作ってください。

8



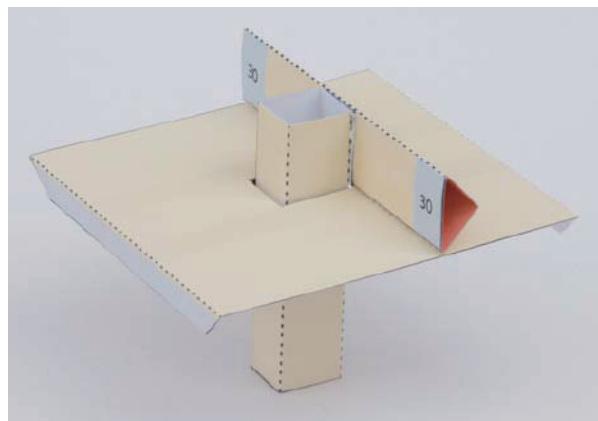
番号「11」と書かれた、黄色の四角い部品も、のりづけし組み立てます。

9



番号「13」とかかれた正方形の部品は、箱の上蓋となります。その裏側（白色）に③であらかじめ作っておいた紫色の「強化材」二つを番号「12」と書かれた場所にのりづけします。更に、これも⑧であらかじめ作っておいた四角柱の番号「11」と箱の裏蓋「11」に合わせて、のりづけします。写真のようになります。

10



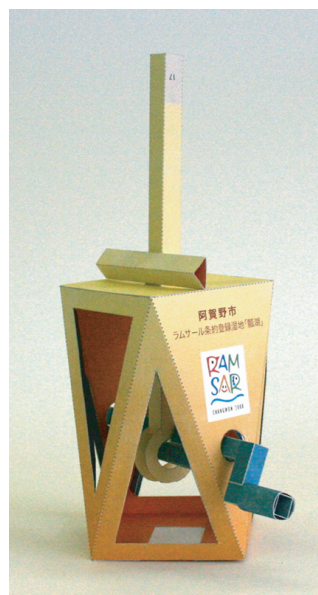
⑨の作業が終了したら、それを逆向きにしてください。④であらかじめ作っておいた部品に書かれた「13」と蓋の表側に書かれた番号「13」とを合わせるように、のりづけをします。

11



一番最初に作った①の箱半分づつを、ひとつにまとめ、箱を組み立てます。各々2枚の箱の部品に書かれた、番号「14」をひとつだけ、のりつけします。その次に、箱の底になる部分に書かれた番号「16」を、のりつけします。番号「16」の残り3箇所も、同じように、のりつけた後に、最後に番号「14」同士をのりつけします。

12



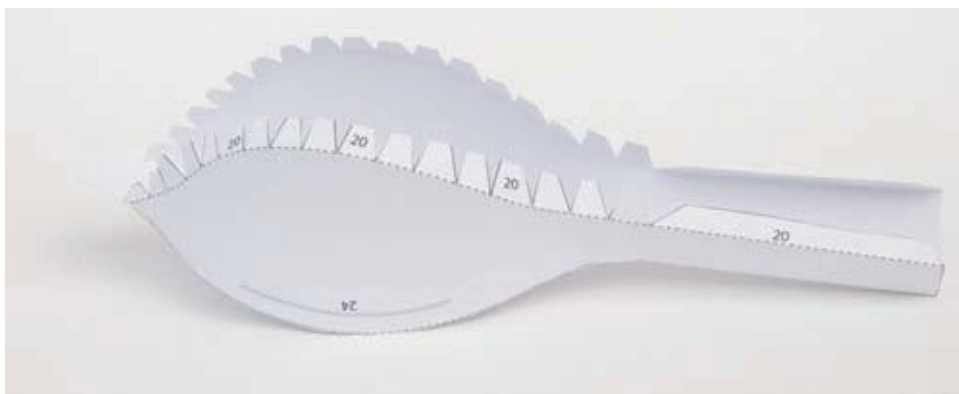
⑪で作った箱の内側に、⑦で作った「クランク（青色）」とシャフト（黄色）を入れ、クランクの端を箱の穴に通します。二つの穴にクランクを通したら、シャフトの上から④で作った、上蓋を通します。その際に④で作った部品が前に来るようにし、更に『阿賀野市ラムサール条約登録湿地「瓢湖」』と書かれた面が、向かって右側にくるようにしてください。写真を良くみて注意深く組み立ててください。位置が定まりましたら、上蓋と箱にかかれた番号×15円同士を、のりつけしてください。これで箱の完成が完成しました。

13



ハクチョウの羽を支える、2つの棒を写真のように組み立てます。番号“18”同士を、のりづけします。その際に、左右にある、小さな“18番”は棒の内側に入れますので、注意してください。内側に入れて、のりづけします。それは棒の強度を増すために行います。

14



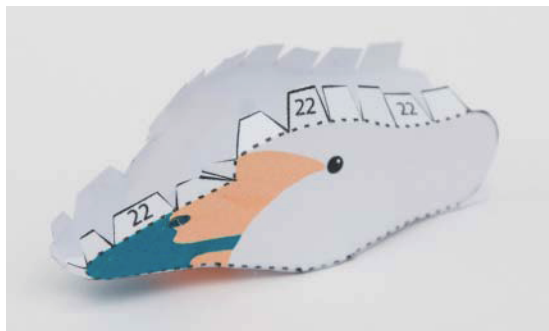
いよいよハクチョウ本体を作ります。まずは胴体です。番号“24”と書かれた部品2枚を用意します。この2枚はハクチョウの両脇にあたります。その次に、裏側に番号“20”（裏側は番号なし）と書かれた部品1枚を用意します。これはハクチョウの背中側にあたる部品

15



今度は、⑭とは反対側になる、ハクチョウのお腹部分を、のりづけし張り合わせていきます。番号“20”に沿って、のりづけしましょう。

16

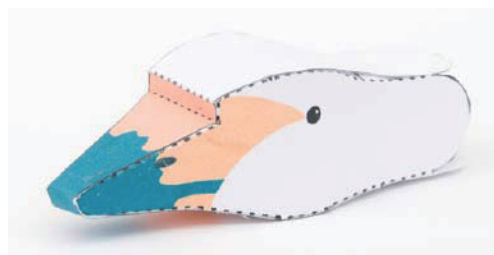


ハクチョウの頭（顔）の部分を作ります。写真のように、頭の両側の下にくる部品（クチバシ（黒）の短いモノ）を、番号「21」に沿って、のりづけしていきます。

17



頭（顔）の下と両脇部分ができたら、次は上の部分のをりづけします。頭とクチバシの境目に段差がありますので、注意深く組み立てましょう。



18



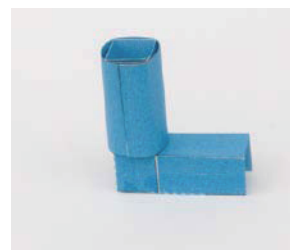
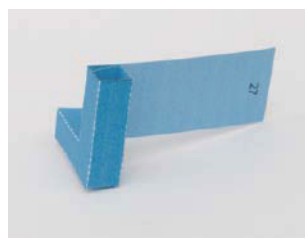
頭の部分が完成したら、それを胴体に接着させます。このとき、頭が曲がったりしないよう注意して、のりづけしてください。

19



胴体、頭部分ができたら、羽を接着させます。

20



ハンドルを写真のような順番で、のりづけし、組み立てます。組み立てたハンドルは、向かって右側 「阿賀野市」 のロゴマークある側に取り付けます。



羽を支える棒（シャフト）2本を箱に取り付けます。番号「30」に、のりづけしておきます。この時点では、この棒の先と、ハクチョウの羽は、まだのりづけしません。

次に、ハクチョウの身体の下にある番号「29」と、身体を支える棒（四角柱）の番号「29」同士の2箇所を、のりづけし、身体と棒がしっかりと、のりづけされるまで手で固定してください。

のりが乾き、固定されたら、羽を支える両脇の棒（ロッド）を所定の位置（番号「31」）に左右、羽の2箇所にしっかりと、のりづけします。最後に、足をハクチョウの身体に、のりづけして完成です。完全に、のりが乾いてからハンドルを回してください。

